

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 教育職 公募
「募集要領」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)は、下記の通り特任助教(教育職任期制職員)の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 公募職種および人数: 特任助教(教育職任期制職員) 1名
2. 配属予定部署:
宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系

3. 職務内容及び求める人物像:

宇宙科学研究所では、生命惑星たる地球の形成へと至った太陽系の起源と進化を実証的に解明することに貢献すべく、太陽系天体の探査を宇宙理学と宇宙工学の融合と大学共同利用の一層の充実によって推進しようとしています。また、複数の太陽系探査プロジェクトをプログラム的に実施するための検討や超小型探査機を戦略的に開発するための検討も開始されています。高度な太陽系探査を可能にするために鍵となる技術の一つが、超長距離において信頼性が高く高速の通信を行うための技術です。これを行うには、高性能で能率の良い送信機、受信機、信号処理装置などの開発が必要になります。また、探査機との通信を行うには、探査機に搭載する通信機器を高性能化するのみならず、地上で探査機と通信を行うための通信設備の高性能化も同時に必要になります。このような搭載通信機器及び地上通信設備の高性能化を図ることは、将来の太陽系探査プロジェクトにおいて大量のデータを地上に送るために必須となります。

今回募集する特任助教(教育職任期制職員)には、宇宙科学研究所が将来実施する太陽系探査プロジェクト(超小型探査機も含む)及び地上設備開発プロジェクトに参加し、当該コミュニティの研究者や技術者と協力しながら、通信機器の開発を主導する役割が期待されます。特に、太陽系探査プロジェクトにおいては、大電力の送信機、超低雑音の受信機、雑音の多い信号からデータを抽出するための信号処理技術のように、地上の通信では使用されない特殊な技術が必要とされます。これらの技術を自分自身の研究成果を活かすことによって新しい発想で設計・試作を行い、開発を主導していくことが求められます。また、通信技術を活用した様々な科学的検出器の開発にも貢献することが期待されます。将来の太陽系探査プロジェクト及び地上設備開発プロジェクトにおいて、より上位の立場からの推進ができるだけの経験と見識を5年の任期の間に獲得したと認められれば、テニュア(任期なしの63歳定年制の身分)が付与され、准教授として採用されます(詳細は後述)。

今回募集する特任助教(教育職任期制職員)には、少なくとも以下の業務を担当していただきます。

- 太陽系探査のための通信技術に関する基礎的な研究を自由な発想に基づいて実施する。

- JAXAの将来の深宇宙探査機(超小型探査機も含む)で必要とされる高性能高効率な通信機器(送信機、受信機、信号処理装置など)や通信技術を応用した科学的検出器の開発を自ら設計・試作を行うことにより主導する。
- JAXAの深宇宙探査用地上局の建設および維持に対して通信技術の立場から積極的に貢献する。
- JAXAが持つ大学共同利用の役割を理解し、通信の分野において大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導を実施する。

このような業務に鑑み、今回募集する特任助教(教育職任期制職員)は、少なくとも次の条件を満たすものとします。

- 宇宙通信の分野における研究及び実務の経験を持ち、具体的な装置開発の経験も有する。
- 将来の太陽系探査用通信技術及び通信機器開発についての明確なビジョンを有する。
- 大学院学生の教育・指導を実施するだけの能力を有する。

4. 応募資格:

(1)博士号を有すること(取得見込みの者を含む。)

(2)応募締切時点で学位取得時点から原則8年以内又は採用日において学位取得見込みであること。

5. 採用時期:決定後できるだけ早い時期。

6. 雇用形態:常勤

7. 雇用期間:雇用期間は同一会計年度内とし、契約期間の更新は、当初採用日から起算して5年を限度とする。

8. 中間評価・テニユア付与審査:

(1) 特任助教は採用後、活動計画を研究総主幹、宇宙科学プログラムディレクタ、関連するプロジェクトチームのプロジェクトマネージャ及び所属研究系主幹と応募時に提出した書類内容に立脚して相談し、5年以内のテニユア付与を目指す研究計画を策定する。

(2) 当初採用日から起算して2年目を目途に中間審査を行い、研究計画の進捗状況を確認する。

(3) 中間審査後雇用終了時まで最大2回のテニユア付与審査を行い、そこにおいて宇宙科学研究所の将来プロジェクトにおいて不可欠な専門性を有すると判断された場合は、任期なし准教授として採用される。業績が優れる場合は中間審査と同時に早期テニユア付与審査を行うことがある。

(4) 中間審査及びテニユア付与審査は、宇宙科学研究所に所属しない関連分野有識者も加えた評価委員会により行う。

9. テニユア付与審査の観点:

テニユアが付与された後は准教授に相応しい活動を展開すること、すなわち、一定のリーダーシップを発揮して宇宙科学研究所で活動、学術コミュニティーにヴィジョンを提示しそれを

共有するグループを形成、ということが求められる。このことを踏まえ、テニユア付与審査の観点は以下の通りとする。

- (1) プロジェクトに関連した活動において任務を遂行する上で、専門性を生かすことで主要メンバーとしての資質を示し、そこにおいて成果を挙げたか。衛星ミッションのプロジェクト・サイエンティスト、プロジェクト・エンジニア等、中心的メンバーの有力候補と認められるだけの活躍をしたか。
- (2) プロジェクト活動と同時に、それに関連したものも含む研究成果の創出をバランスよく行ったか。その研究成果は、国内外の当該学術分野で評価されるに至ったか、あるいは、その将来性が認められるか。
- (3) 大学院生等の若手研究者や若手プロジェクト構成員に対してリーダーシップを発揮し、プロジェクトの円滑な進行や研究の発展へと繋がる指導を行ったか。
- (4) 助教としてプロジェクトに従事しつつ研究を推進した経験を踏まえて、宇宙科学のいずれかの分野において将来を展望するヴィジョンを獲得したか。当該学術コミュニティに対し、そのヴィジョンを提示しそれを共有するグループを形成するに至ったか、あるいは、その将来性は高いか。

10. 勤務地:

宇宙航空研究開発機構 相模原キャンパス(神奈川県相模原市)

11. 身分:

宇宙科学研究所 特任助教(国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構教育職任期制職員)

12. 待遇:

- (1) 機構の規程による。
- (2) 給与: 能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
- (3) 研究費: 旅費、研究経費を含む研究費 100 万円が毎年度支給される。
- (4) 休日・休暇: 完全週休 2 日制、祝祭日、年末年始、年次有給、夏季、慶弔、産前産後、育児、介護、看護、ボランティア等
- (5) 始業、終業時刻、休憩時間: 原則、始業午前 9 時 30 分、終業午後 5 時 45 分、うち、午後 0 時 15 分から午後 1 時まで休憩時間(ただし専門業務型裁量労働制を適用する)
- (6) 所定労働時間を超える労働の有無: 有(ただし、専門業務型裁量労働制を適用し、1 日のみなし勤務時間を 7 時間 30 分とする)
- (7) 社会保険: 各種社会保険完備(健康保険、厚生年金保険等)

13. 提出書類:

- (1) 履歴書
- (2) 研究歴
- (3) 論文リスト(インパクトファクターあるいは被引用数を記載のこと)
- (4) これまでの研究概要と今後の研究計画(プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む。特に 3. 職務内容及び求める人物像に挙げた 3 つの業務を念頭に研究計画を述べること。)
- (5) 外部研究資金獲得実績(外部資金の種別、金額、研究代表/分担を明記すること)
- (6) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方 2 名、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方 2 名の氏名と所属、連絡先(電話番号、電子メールアドレス)
- (7) 主要論文の別刷り 3 編以内(査読付き学術誌に掲載されたものに限る)

※以下は欧州経済領域(EU 圏)在住者のみ、提出してください。

- (8) EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱に関する同意書(様式 1)
14. 提出方法の Web サイトから電子的方法によりダウンロードしてください。

14. 提出方法

下記 Web サイトから電子的方法により提出してください。

<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1545108543>

提出にあたっては、上記 web サイト上の指示に従って下さい。

upload していただくファイルは全て pdf 形式となります。特に、提出書類(2)から(5)は一つの pdf にまとめていただきます。

他薦の場合、推薦者にて直接、推薦書の web サイトへの upload をお願いすることになります。(入力いただいた推薦者のメールアドレスあてに依頼メールが自動送付されます)

なお、郵送又は持参での提出は、原則として受理できません。

15. 応募締め切り:

Web 入力及び(「他薦」の場合は推薦者による「推薦書」を含む)全ての必要書類提出について

2019 年 5 月 1 日(水) 9 時 30 分(日本時間) 必着

応募者は、お早めに上記 web サイトにアクセスの上、応募書類(「他薦」の場合の「推薦書」を含む)の提出方法を確認しておいてください。

応募締切直前に応募の場合、推薦者が「推薦書」を提出できる期間も短くなりますので、ご注意ください。

16. 問い合わせ先:宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

宇宙科学研究所研究総主幹 久保田 孝

電話: 050-3362-3657 E-mail:kubota.takashi@jaxa.jp

ただし、上記「14.提出方法」に関する問い合わせ先:

科学推進部人事担当

電話: 050-3362-2695 E-mail: ISAS-JINJI @ml.jaxa.jp

17. その他:

選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。

また、選考は文部科学省卓越研究員制度の選考と両立するようにすすめます。このため、応募者が 2020 年 4 月 1 日現在 40 歳未満である場合には、並行して公募される下記 HP アドレスに掲載した文部科学省卓越研究員制度にも応募することを希望します。

https://www.jsps.go.jp/j-le/koubo_kenkyu.html

選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。宇宙科学研究所は、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

<個人情報の利用目的について>

宇宙航空研究開発機構の職員の公募に関連して提供された個人情報については、採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄・消去いたします。

※<EU 一般データ保護規則(GDPR)に基づく個人情報の取扱いに関する同意書>

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下「JAXA」と言う。)は、採用活動及び人事管理のため、個人情報をご提供頂く必要があり、また、上記業務の履行のため JAXA と契約関係にある第三者へ提供することに同意を頂く必要があります。

ご提供頂く当該個人情報の取り扱いに関し、JAXA は、プライバシー及び個人情報保護の重要性を認識し、情報管理者として個人情報保護に関する法令、特に、1978 年 1 月 6 日の法律第 78-17 号(Data Protection Act)及び 2018 年 5 月 25 日より施行された 2016 年 4 月 27 日の EU 一般データ保護規則第 2016/679 号(General Data Protection Regulatory-GDPR)を遵守します。